

2025 年 2 月 27 日

ピクシーダストテクノロジーズ株式会社の株式譲渡について

株式会社 INCJ（本社：東京都港区、代表取締役社長：勝又 幹英）は、INCJ が保有するピクシーダストテクノロジーズ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：落合陽一、村上泰一郎、以下「PDT」）の全株式を PDT に譲渡することを決定し、このたび、その譲渡を完了しましたのでお知らせします。

<詳細>

1. 対象会社

- ・社 名 : ピクシーダストテクノロジーズ株式会社
- ・設 立 : 2017 年 5 月
- ・所在地 : 東京都中央区
- ・代表者 : 代表取締役会長 CEO 落合陽一、代表取締役社長 COO 村上泰一郎
- ・事業内容 : 波動制御技術をコアとする視聴触覚技術の社会実装プラットフォーム事業
- ・URL : <https://pixiedusttech.com/>

2. これまでの支援内容

- ・支援決定公表日 : 2019 年 5 月 23 日
- ・支援決定金額 : 20 億円（上限）
- ・実投資額 : 19 億円
- ・参照プレスリリース :
波動制御技術をコアにした技術シーズの社会実装を目指すピクシーダストテクノロジーズ株式会社への出資について
https://www.incj.co.jp/newsroom/PressRelease_INCJ_Pixie_20190523.pdf

3. Exit の経緯

(1) 出資について

PDT は、大学研究による技術シーズを、事業会社等との連携を通じて社会実装することを目指し設立されたベンチャー企業である。超音波やレーザーで使用する波動制御技術の実用化に高い専門性を有し、視覚・聴覚・触覚領域の製品開発に取り組んでいる。

INCJ は、PDT の事業を通じた少子高齢化や労働力不足などの社会課題解決への寄与、PDT が大企業とのオープンイノベーションを推進するアカデミア発ベンチャー企業のモデルケースになることを期待し、出資を決定した。

(2) 出資後の事業進捗

出資以降、INCJ は PDT に対し、既存投資先とのポートフォリオシナジー創出などハンズ

オン支援を提供するとともに、社外取締役の派遣等を通じた経営面のサポートを行ってきた。

PDT は認知症対策や難聴者向けのソリューションを大企業と連携して開発、特定帯域を吸音する意匠性・素材を問わない吸音パネルや認知症対策に特化したサウンドスピーカーなど、優位性のある製品を複数上市、2023 年 8 月に NASDAQ Capital Market に上場した。現在は上場廃止を決定し、今後の更なる事業成長に向けた経営戦略の下、事業を推進している。

(3) Exit の経緯・内容

INCJ は PDT の株式について、成長戦略の状況を考慮しながら Exit 活動を実行してきた。2023 年 8 月に同社が NASDAQ Capital Market へ上場してから、2024 年 2 月のロックアップ解除直後には株式売却を行わず、順次、一定の市場への関与度の下で、段階的な保有株式の売却を行ってきた。その後、2024 年 10 月に同社は上場廃止の方針を公表、INCJ の活動期限も踏まえ Exit 方法について様々な協議・検討を行った結果、今後の事業展開を考慮し、INCJ が保有する同社株式の全部を、同社に譲渡することとした。

4. 主務大臣（経済産業大臣）意見

本案件は、波動制御技術等の革新的技術の社会実装により、社会課題解決を図ることを目的としたスタートアップ企業に対する支援である。

本案件における投資活動を通じて把握された事業価値向上に向けた取組における課題について改めて検証し、今後の産業革新投資機構の投資活動に活かすことを通じて、我が国の産業競争力の強化に貢献されたい。

株式会社 INCJ について

株式会社 INCJ は、2018 年 9 月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009 年 7 月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務として、2025 年 3 月末まで投資活動を行っていきます。

URL : <https://www.incj.co.jp/>

<本発表資料に関するお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 経営企画室 広報
奥村（070-3960-3640）、三角（080-8098-0445）
東京都港区虎ノ門 1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア

URL : <https://www.j-ic.co.jp/jp/>

<https://www.incj.co.jp/>